

[インデックスに戻る](#)

2. 2次関数

2-1. 2次関数とグラフ

2-1-2. 2次関数のグラフ

2-1-2-2. 一次の項がない2次関数

図形を、形・大きさ・向きを変えずに、一定の方向に一定の距離だけ移動することを、**平行移動**という。

2つの2次関数 $f(x) = ax^2$ と $g(x) = ax^2 + b$ について、

$$g(x) = f(x) + b$$

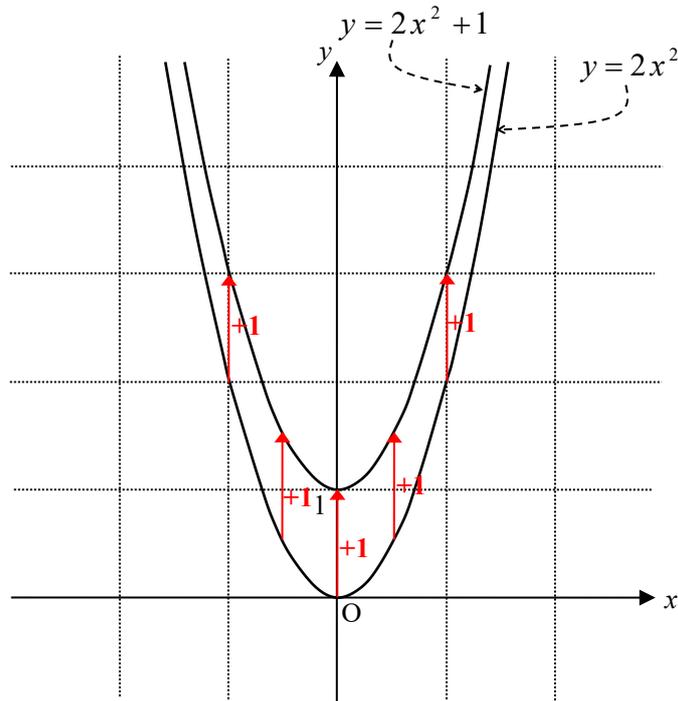
が成り立つ。このことから、 $y = g(x)$ のグラフは $y = f(x)$ のグラフを y 軸の方向に b だけ平行移動したものである。

例 $y = 2x^2 + 1$

$y = 2x^2$ と $y = 2x^2 + 1$ を比較する。

x	-3	-2	-1	0	1	2	3	
$2x^2$	18	8	2	0	2	8	18	+1
$2x^2 + 1$	19	9	3	1	3	9	19	

したがって、 $y = 2x^2$ のグラフをもとに、 $y = 2x^2 + 1$ のグラフを描くと次のようになる。



[インデックスに戻る](#)